



「大槌湾 海洋環境モニタリングリアルタイム配信」のホームページ。  
※現在は、一部休止している項目もあります。



第20回

三陸の海洋環境についての  
情報ウェブサイト  
(さまざまなホームページ)

今号では、インターネットで三陸の海洋環境情報を発信している、さまざまなホームページ（ウェブサイト）をご紹介します。

大槌湾 海洋環境モニタリングリアルタイム配信

まずは、私たちの研究所のホームページから。東京大学では地域の皆さんからのご協力も頂いて、大槌湾の海洋環境を監視する装置を多数設置しました。その際、装置によって得られる時々刻々の環境データを、インターネット上でリアルタイム配信することにも取り組みました（上図のホームページ画面）。現在の赤浜沖や長崎沖の水温など海の中の情報に加えて、ひょうたん島付近の海上風速や、実際の海の様子画像などを配信しています。ホームページへは、大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センターホームページ上のリンク画像（バナー）からや、検索エンジンに「大槌湾海洋環境モニタリング」を入力するなどして、どうぞいらして下さい。

東京大学以外の様々な機関が発信している情報

岩手県水産技術センターが運営するホームページ「いわて大漁ナビ」(<http://www.suigi.pref.iwate.jp/>)では、野田湾・山田湾・船越湾・釜石湾・大船渡湾・広田湾の現在の水温をご覧になれます。また、人工衛星が測った三陸沖の水温分布画像（見やすく綺麗です）もご覧になれます。水産総合研究センター東北区水産研究所が運営するホー

ムページ「データベース」(<http://infri.fra.affrc.go.jp/database.html>)からは、東北地方各地（太平洋側は青森県から茨城県までの各県、日本海側も青森・秋田・山形の各県）の現在の水温をご覧になれます。また、三陸沖の水温分布もご覧になれます。特に深いところの水温データは、多くの海洋関係機関によって集められた、世界でも稀にみるほど充実したものです。

仙台管区気象台が運営する「東北の海はどんな様子？」([http://www.jma-net.go.jp/sendai/wadai/umi/umi\\_index.html](http://www.jma-net.go.jp/sendai/wadai/umi/umi_index.html))では、東北周辺の水温のほかに、海流、波の高さ、潮の満ち引きなどが分かります。さまざまな項目（親潮や津軽暖流の位置・面積など）についての詳しい解説や予報を提供している点特徴です。

海洋研究開発機構アプリケーションラボが運営する「黒潮親潮ウォッチ」(<http://www.jamstec.go.jp/aplinfo/kowatch/>)では、黒潮・親潮の流れの現況と予測結果を、詳しい解説付きで配信しています。昨年（平成27年）の夏から冬にかけて、親潮域が数十年ぶりに記録的な暖かさとなりました（サンマ漁などの不振の一因と言われています）。また、今冬は非常に強いエルニーニョ現象も発生し（スーパーエルニーニョと言われています）、記録的な暖冬となりました。こうした話題についても、とても分かりやすく解説されています。

（東京大学大気海洋研究所・国際沿岸海洋研究センター准教授）



たなか きよし  
田中 潔  
1971年大阪府生まれ。専門は海洋物理学。三陸沿岸から太平洋や南極まで、様々な海域における海流の実態を、海洋観測・数値シミュレーション・流体力学理論などによって調べている。